

News Release

株式会社山陰合同銀行

〒690-0062 島根県松江市魚町 10
TEL.0852-55-1000
<https://www.gogin.co.jp>

2026 年 9 月 18 日

ポジティブ・インパクト・ファイナンス 株式会社姫路環境開発モニタリング結果

ごうぎんは、株式会社姫路環境開発のポジティブ・インパクト・ファイナンスについてモニタリングを実施しましたのでお知らせします。

当行は、引き続き地域や企業のサステナビリティ経営に貢献し、持続可能な地域社会の形成を目指してまいります。

記

1. 企業概要と契約の内容

企 業 名	株式会社姫路環境開発（代表取締役 梅崎 晃平）
所 在 地	兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来 3 0 6 7 - 1 7
主 な 事 業	産業廃棄物収集運搬・処理、解体工事、リサイクル
契 約 日	2024 年 12 月 27 日
融資極度額	9 億円

2. 実績および進捗に係るモニタリング・対話の状況

リサイクル率向上や CO2 排出量削減、福利厚生制度の拡充、年間休日の増加など、各 KPI 達成に向けた社内体制の整備が着実に進んでいます。年間休日については、2030 年の目標達成に向け年度目標を前倒しで達成されており、雇用の面でのポジティブ・インパクトの創出がなされています。

特定した インパクト	KPI	2025 年度実績
廃棄物処理の効率化・高度化を通じた、資源循環型社会の構築への貢献	・廃棄物の受入量を維持拡大しつつ、廃プラスチック類のリサイクル率を 2030 年度までに 50% 以上にする	・15.86% (2023 年度比△5.14 ポイント) 廃プラスチック類の受入量が増加したため相対的にリサイクル率低下。 2026 年に資源リサイクルセンターの稼働を開始し、リサイクル率向上を図る予定。
気候変動への対応と脱炭素社会への移行	・SBTi [*] 認証に基づき CO2 排出量を削減する (毎年 4.2%以上の削減)	・2024 年度比 0.5%増加。448tCO2e の削減量不足。運搬車両の燃費改善、代替バイオ燃料による低炭素化を検討。
健康で長く働き続けられる職場環境の整備	・福利厚生制度を毎年度拡充する (企業型年金制度等の導入、健康診断のオプション増加等) ・廃棄物選別機導入による作業効率向上等により、2030 年度までに年間休日を 120 日以上/年とする (2025 年度目標 107 日)	・2026 年 7 月に社内献血制度を導入。 ・2025 年度年間休日 107 日を取得し、目標達成。

^{*}SBTi：企業が二酸化炭素排出量ゼロの達成に向けて、科学的に根拠のある基準を定義した国際機関

※インパクト詳細については「[評価書](#)」をご参照ください。

3. 当行の取り組み内容

当行は、金融面でのサポートを通じて、同社の事業基盤強化に努めてまいりました。引き続き金融面での取り組みに加え、ビジネスマッチング（BM）等を通じたソリューションの提供により、脱炭素化に資する設備・サービスの導入や福利厚生制度の拡充に向けた取り組みを進めてまいります。これにより、同社における脱炭素経営の推進、人的資本経営の充実を後押しし、持続的な成長と企業価値向上への貢献を目指します。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスは、お取引先の企業活動が環境・社会・経済に与えるインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を当行が包括的に分析・評価し、ポジティブな影響を拡大し、ネガティブな影響を軽減するための取り組みをサポートします。当行は、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（PIF 原則）に基づき、同社の ESG・SDGs に関する取り組みや本業との関連性等を分析し、評価を行いました。

PIF 原則では、投融資先の事業主体が実現したインパクトについて、透明性の確保と情報開示が求められています。

【参考】当行のサステナブルファイナンスの取り扱い

名称	ごうぎんサステナビリティ・リンク・ローン	<u>ポジティブ・インパクト・ファイナンス</u> <u>(本件)</u>	ごうぎんグリーンローン	ごうぎんソーシャルローン
資金使途	事業資金		環境面の改善を目的とした事業資金	社会面の改善を目的とした事業資金
融資金額	5 千万円以上			
融資利率	当行所定の条件 (目標の達成状況に応じて金利が変動)	当行所定の条件		



以 上